日立労働基準監督署長が発注機関と合同で災害復旧工事パトロールを実施

令和６年２月 13 日

日立労働基準監督署（署長　狩野直美）は、昨年９月に発生した台風 13 号に伴う大雨により被害を受けた常磐自動車道下りの鞍掛トンネル南側坑口について、発注者である東日本高速道路株式会社（ＮＥＸＣＯ東日本）関東支社水戸管理事務所と合同での災害復旧工事パトロールを実施しました。

担当者（左）より説明を受ける署長（右）

発注機関（右）、担当者（中央）と施工範囲を確認する署長（右）

現場は、大雨被害直後に実施された応急復旧対策に続き、恒久的な復旧対策を施工するもので、現場に設置されていた仮設通路は通路間の隙間を覆うことで転倒防止対策が取られていたことを確認したほか、今後予定される作業内容に対する墜落防止対策の状況を確認し、改めて労働災害防止対策の徹底を呼びかけました。

日立労働基準監督署では、災害復旧・復興工事においても、安全な作業が行われるよう、安全パトロール等を通じて、安全対策の必要性を呼び掛けてまいります。

日立労働基準監督署　第３方面
TEL：0294-88-3980